

器 26 医療用遠心ちんでん器
一般医療機器 汎用検査室用遠心機 JMDN 36465000

イムスピン II

【形状・構造及び原理等】

1. 構造・構成ユニット



1) 機器構成

本装置は本体部（写真左上）から構成されています。

右上写真：正面部に位置する操作パネルの拡大図

下写真：本体部の背面

2) 寸法・重量

寸法：330 mm（幅）× 420 mm（奥行）× 313 mm（高さ）

重量：約 21 kg

3) 電氣的定格

① 電源電圧：100・127 V

② 周波数：50・60 Hz

③ 消費電力：510 VA

2. 原理

検体を入れた試験管等をローターにセットし、ローターを高速回転させることで遠心力により検体の成分を分離する。

【使用目的又は効果】

体液等の試料を、単独又は試薬等を添加した後に、懸濁液の成分を遠心分離する。

【使用方法等】

1. 設置方法

1) 設置条件

システムの指定された定格範囲内の電圧と電流を供給する電源に接続してください。

2) 使用環境条件

① 使用環境条件

温度 2～40℃

湿度 80%以下（但し、結露しないこと）

② 設置を避ける場所

- a) 暖房や冷房等の風が直接当たる場所
- b) 水がかかる可能性のある場所
- c) 直射日光に当たる場所
- d) 温度変化の大きい場所
- e) 磁気や電磁波を発生させる場所

f) 熱を帯びた装置に近い場所

g) 振動の多い場所

h) 強度的に不安定な場所

i) 塵埃の多い場所

2. 使用方法

- 1) 電源スイッチを押して、電源を入れる。
- 2) 操作パネルの [STOP/OPEN] ボタンを押して、蓋を開ける。
- 3) ローターを取り付け、バケットをセットする。
- 4) インサートに検体を入れる。この時、バランスを取るため、バケットの中は反対側のバケットの中と左右対称にする。
- 5) 操作パネルの [RCF] ボタンを押して、遠心数及び遠心時間を入力する。
- 6) 操作パネルの [START/IMPULS] ボタンを押して、遠心を開始する。設定した遠心時間が経過すると、遠心機は自動的に停止する。
- 7) 操作パネルの [STOP/OPEN] ボタンを押して蓋を開け、インサートを取り出す。

※ 使用方法の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

【使用上の注意】

- ・本装置は安定した水平な場所に設置してください。
- ・使用前にローターが確実に装着されていることを確認してください。
- ・本装置に異常が認められた場合は、直ちに使用を中止し、電源スイッチを切ってください。

※ 注意事項の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

温度 -20～60℃

2. 有効期間・使用の期限（耐用期間）

指定された保守点検を実施した場合の使用耐用年数は自主基準として、7年とします。ただし装置の寿命は使用状況、整備状況によって変わります。

【保守・点検に係る事項】

保守・点検の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

【主要文献及び文献請求先】

アイ・エル・ジャパン株式会社

〒108-0073 東京都港区三田 1-3-30

TEL 03-5419-1301

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

（製造販売業者）

アイ・エル・ジャパン株式会社

東京都港区三田 1-3-30

（外国製造業者）

アンドレアス ヘティッヒ社

Andreas Hettich GmbH & Co. KG（ドイツ）